



進取

令和3年6月28日発行

阿久根市立阿久根小学校
27学級 児童数440名

気持ちのよいあいさつを 有り難う！

校長 深川 光久

朝、学校近くの交差点に立っていると子どもたちがよくあいさつをしてくれます。私の方からすることも多いですが、子どもたちの方からあいさつをしてくれることもずいぶん増えてきました。いろいろな方から、阿久根小学校の子どもたちのあいさつがよくなってきているとお話をいただきます。子どもたちの気持ちのよいあいさつは、私に一日の活力を与えてくれます。これは、子どもたちも同じだと思います。

本校の職員には子どもたちをよりよく変えるためにはタイミングがある。これまでより、あいさつがよくなっているとしたら今がそのチャンス！子どもたちを褒めて、たくさんのあいさつが交わされる学校へと変えるチャンスであると話しています。

さて、ご家庭での子どもたちのあいさつはどうでしょうか。布団から出てきた子どもたちは、「おはよう。」と言っているのでしょうか。ご飯を食べるときに、「いただきます。」「ごちそうさま。」家を出る時の「行ってきます。」帰ったときに「ただいま。」は言っているのでしょうか。家庭でのあいさつが、外であいさつができるかどうかの基盤です。家にお客さんが来たときに、挨拶ができていますでしょうか。子供の頃、私もすぐにお客さんにあいさつをしなくて親に怒られていたことを思い出します。ぜひご家庭でも、できたらほめてあいさつが自然にできる子どもたちに学校と一緒に育てていきましょう。

風テラスあくねの中に福沢諭吉先生の「一家八習慣ノ学校ナリ」という文章の一部を現代語になおしたものを掲示してありましたのでご紹介します。



子どもは家にあっては、毎日一日中、父母の姿を目にして育つ。家庭というものは父母の心によってつくられるもので、子どもの習慣はすべて父母の一心にかかっているといい。

故に家庭は習慣の学校であり、父母は習慣の教師である。しかも、この習慣の学校は教育を行う学校よりもはるかに力があり、きわめて大きな効果を与える。

福沢諭吉が明治11年に書いた教育論「福沢文集」1編巻の1より

新型コロナウイルス感染症と熱中症新の予防

現在学校では、新型コロナウイルス感染症と熱中症の予防に努めているところです。県内の新型コロナウイルス感染症にかかる方も減ってきましたが、今後とも朝の検温やお子さんの健康観察をよろしくお願いします。これまで、曇り空が多く気温が上がる日が少ないでしたが、7月になると気温が上がってきます。水分補給の準備や睡眠時間の確保、朝食の摂取等ご家庭でもご指導ください。440人全員が元気に1学期を終えられるようご協力をお願いします。

